

## 加賀市全体における適正病床数(合計)について (将来推計を踏まえた必要病床数)

	総合計			
		①手術有り	②手術無し及び 入院日数30日以内	③手術無し及び 入院日数31日以上
回復期リハビリテーション病床	44.5床 (51.0床)	16.7床 (19.2床)	15.3床 (17.5床)	12.5床 (14.3床)

一般的に急性期患者といわれている部分【合計値】

回復期リハビリテーション病床数	45床 (51床)
-----------------	--------------

加賀市における一般病床を持つ病院一覧

病院名	回復期
加賀市民病院	42
山中温泉医療センター	40
合計	82

適正病床数(回復期リハビリテーション病床)

DPC6桁【加賀市】手術有りの患者

状態	MDC2桁	退院患者数	転院率	MDC2桁	在院日数	必要病床数	2025年将来患者見込み	必要病床数(将来推計)
1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(150日以内)	01(有)	1人	24.60%	01(有)	87.7日	0.8床	114.8%	0.9床
	01(無)	0人	16.05%	01(無)	87.7日	0.0床	114.8%	0.0床
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の骨折の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(90日以内)	07(有)	16人	7.93%	07(有)	56.0日	2.4床	113.0%	2.8床
3. 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内の状態(90日以内)	04(有)	14人	8.88%	04(有)	59.3日	2.6床	124.2%	3.2床
	05(有)	13人	5.60%	05(有)	59.3日	1.5床	124.0%	1.8床
	06(有)	74人	3.33%	06(有)	59.3日	5.0床	110.1%	5.5床
	16(有)	14人	15.97%	16(有)	59.3日	4.4床	111.4%	4.9床
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1ヶ月以内の状態(60日以内)	07(無)	0人	5.31%	07(無)	56.0日	0.0床	113.0%	0.0床
<b>合計</b>						<b>16.7床</b>	<b>111.4%</b>	<b>19.2床</b>

DPC6桁【加賀市】手術なし及び入院日数が30日以内の患者

状態	MDC2桁	退院患者数	転院率	MDC2桁	在院日数	必要病床数	2025年将来患者見込み	必要病床数(将来推計)
1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(150日以内)	01(有)	0人	24.60%	01(有)	87.7日	0.0床	114.8%	0.0床
	01(無)	29人	16.05%	01(無)	87.7日	14.1床	114.8%	16.2床
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の骨折の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(90日以内)	07(有)	0人	7.93%	07(有)	56.0日	0.0床	113.0%	0.0床
3. 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内の状態(90日以内)	04(有)	0人	8.88%	04(有)	59.3日	0.0床	124.2%	0.0床
	05(有)	0人	5.60%	05(有)	59.3日	0.0床	124.0%	0.0床
	06(有)	0人	3.33%	06(有)	59.3日	0.0床	110.1%	0.0床
	16(有)	0人	15.97%	16(有)	59.3日	0.0床	111.4%	0.0床
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1ヶ月以内の状態(60日以内)	07(無)	11人	5.31%	07(無)	56.0日	1.2床	113.0%	1.3床
<b>合計</b>						<b>15.3床</b>	<b>111.4%</b>	<b>17.5床</b>

DPC6桁【加賀市】手術なし及び入院日数が31日以上の患者

状態	MDC2桁	退院患者数	転院率	MDC2桁	在院日数	必要病床数	2025年将来患者見込み	必要病床数(将来推計)
1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(150日以内)	01(有)	0人	24.60%	01(有)	87.7日	0.0床	114.8%	0.0床
	01(無)	24人	16.05%	01(無)	87.7日	11.5床	114.8%	13.2床
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の骨折の発症又は手術後2ヶ月以内の状態(90日以内)	07(有)	0人	7.93%	07(有)	56.0日	0.0床	113.0%	0.0床
3. 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内の状態(90日以内)	04(有)	0人	8.88%	04(有)	59.3日	0.0床	124.2%	0.0床
	05(有)	0人	5.60%	05(有)	59.3日	0.0床	124.0%	0.0床
	06(有)	0人	3.33%	06(有)	59.3日	0.0床	110.1%	0.0床
	16(有)	0人	15.97%	16(有)	59.3日	0.0床	111.4%	0.0床
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1ヶ月以内の状態(60日以内)	07(無)	9人	5.31%	07(無)	56.0日	1.0床	113.0%	1.1床
<b>合計</b>						<b>12.5床</b>	<b>111.4%</b>	<b>14.3床</b>

※高齢化により2025年は入院患者数のピークを迎えると予想されるため、2025年将来患者見込み(2010年を100%として算出)を用いている。

# リハビリテーションの充実①

## 回復期リハビリテーション病棟の評価

➤ 回復期リハビリテーション病棟の評価体系を見直し、充実したリハビリテーションを推進する。

【現行】

回復期リハビリテーション病棟入院料1	1,720点
回復期リハビリテーション病棟入院料2	1,600点

【改定後】

(新)回復期リハビリテーション病棟入院料1	1,911点
(改)回復期リハビリテーション病棟入院料2	1,761点
回復期リハビリテーション病棟入院料3	1,611点

(注)重症患者回復病棟加算については、入院料に包括して評価を行う

### [施設基準]

	(新) 回復期リハビリテーション病棟入院料1	回復期リハビリテーション病棟入院料2 (旧1)
看護配置	13対1以上	15対1以上
看護補助者の配置	30対1以上	30対1以上
その他の職種の配置	専任医師1名以上、専従理学療法士3名以上、 作業療法士2名以上、言語聴覚士1名以上、 専任社会福祉士等1名以上	専任医師1名以上、専従理学療法士2名以上、 作業療法士1名以上
在宅復帰率	7割以上	6割以上
新規入院患者	重症患者が3割以上 看護必要度A項目1点以上の患者が1割5分以上	重症患者が2割以上
重症患者の退院時日常生活機能評価 *	4点以上改善している患者が3割以上	3点以上改善している患者が3割以上

\* 重症患者回復病棟加算の包括化に伴う要件